

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

平成 28 年度通常総会 補足資料

■ 通常総会タイムテーブル (あくまでも目安です。状況により変更となります)

時刻	時間	内容
15:00～15:20	20 分	定足数確認、開会、議長・議事録署名人選出、趣旨説明、役員紹介
15:20～15:35	15 分	第一号議案 平成 27 年度事業報告並びに決算及び監査報告について
15:35～16:20	45 分	第二号議案 平成 28 年度事業計画並びに予算について
16:20～16:30	10 分	第三号議案 平成 28 年度役員を選任について
16:30～16:40	10 分	第四号議案 定款の一部変更について
16:40～17:00	20 分	その他報告、質疑応答・意見交換、閉会

■ 「総会議事資料に関する意見交換会」ご報告 (Q&A 集)

全国 7 地区・8 会場で開催した「総会議事資料に関する意見交換会」での質疑応答をまとめました。

1. ミッション、ビジョン、その他活動全般について

- 1) 昨年の方向性は、「掛け合わせ」で、新年度は、「越えてつながる」と言っているが、もう「掛け合わせ」は終わったということなのか。
 - 「掛け合わせ」が終了したというわけではありません。それぞれの分野における「掛け合わせ」があった上で、それを越えてつながっていくという活動を推進したいと考えています。
- 2) 「各分野×ファシリテーション」の実績をまとめて見ることはできないか。
 - 現在はできていません。ご意見として、承ります。
- 3) ビジョン 3.0 は会員にとってどれだけ腑に落ちているものなのか。どういったプロセスでビジョン 3.0 が作られて、どういった浸透の策をしてきたのか。
 - 今回は理事会で原案を作成し、支部定例会を活用して意見をもらい、理事会で完成させたものです。浸透に向けた取り組みは、これから検討し進めていくところです。
- 4) 長期ビジョンはあるのか？
 - ありません。
- 5) ファシリテーションの認知度が上がっていないように感じている。マスメディアを活用するなど認知度を高める工夫をお願いしたい。(ファシリテーターの有名人をつくったり、紛争をファシリテーションで解決した事例をひろめたりなど)
 - ご意見として、承ります。
- 6) アグレッシブな現在の理事会をぜひ続けていただきたい。
 - ありがとうございます。ご意見として、承ります。
- 7) 前回の総会のときにも発言したが、こういった意見交換でバズセッションがあるのがよい。総会のときもバズセッションの量を増やしてほしい。
 - ご意見として、承ります。

2. 調査・研究事業について

- 8) シンポジウムでは 26 件の研究発表と 8 件の F 力測定がなされたとあるが、ファシリテーション・シンポジウムにおける FAJ の研究成果について、外部へ発信していくなどやるべきではないか。
 - 現時点では、外部へ発信することについては検討していません。2016 年度シンポジウムについては、参加対象を広く開いていくことについて理事会で検討し、共同研究していただく方については参加可能としました。2017 年度以降については参加条件共々、理事会で検討していくことになっています。

9) ファシリテーションに相関する力（F力）とは何か。

→ 「要約力」「場あため力」など、ファシリテーションと相関関係にある能力のことです。どのような能力がファシリテーションと関係しているかを研究し、シンポジウムの中で発表、測定する場を作っています。大阪のシンポジウムから始まり、3回実施しています。自分なりのファシリテーションに気づき、成長の手がかりにするものです。

10) 定例会は、「研鑽」「探求する」と説明しているが、初参加の人がいる場合は、研鑽、探求までたどり着かない。もっと学習とか初心者対応としてもよいのでは。それが社会の要請なのではないか。

→ もちろん初心者向けの定例会もあってよいと思います。支部の実情にあわせて自律的に動きやすいように整えていきたいと考えています。

3. 教育・普及事業について

11) セミナー委員を委員とアソに分けると、機動的になるのか

→ 2015年は委員が40人だったので、委員会を開くことができませんでした。分けることにより委員会を開きやすくし、新しい取り組みを検討する場ができ、機動的になると考えています。

12) 基礎講座の日数や方向性について、理事会の意見をききたい。

→ 理事会では適正回数などの設定はしていません、今年度もセミナー委員会と理事会で検討していくことになると考えています。

13) 公開セミナーの新しい展開はニーズがあるので、期限を決めてすすめてほしい。

→ ご意見として、承ります。

14) 「新たな展開の検討」は期待するところであるが、どんなことをやる予定なのか？

→ セミナー講師の中で有志があつまり、検討が始まったところです。いつ頃、何を行うのかは未定です。

4. 支援・助言事業について

15) 新しい支援助言事業は何のことか。

→ ファシリテーション活用支援プログラム（以下、ファシ活）委員会、災害復興支援室、教育ファシリテーション推進室が統合し、ファシリテーションサポート委員会となり、事業としては「ファシリテーションサポートプログラム（以下、ファシサポ）」となりました。

16) 「ファシ活が終了する」という表現があるが、その意味は？

→ これまで外部からのファシリテーション支援は、「ファシリテーション活用支援プログラム規程」という運営規程に則り、紹介した会員が個人として案件を担当する仕組みとして運営してまいりました。その運用を終了する、という意味です。

17) ファシリテーションサポートプログラム（以下、ファシサポ）ではファシ活のように外部からの依頼には対応しないのか？

→ これからも外部からの依頼には対応します。ファシ活とファシサポの違いは、個人としてではなくFAJとして支援活動を行うという点です。

ファシサポは、これまでの災害復興支援室の在り方をベースにFAJとして恒常化させ、事前に登録されている特定の会員を派遣することで、組織として持続可能な支援活動をしていく仕組みです。当面の間は担当者を公募せず、事前に登録するメンバーで外部からの支援依頼に対応していく予定です。

18) ファシサポで、外部に対して支援をするのは、ある要件を満たした人になるのか。

→ 外部からの依頼に対して、FAJとして支援していただける人について、いくつかの要件を検討したが、それらの視点を基に、理事、拠点長等に相談をし、名前を挙げていただきました。

19) ファシサポになってどう変わるのか？FAJ、外部にとってのメリットはなにか。

→ ファシ活では入口（受付）：FAJ、出口（対応）：個人、という流れでしたが、出口をFAJとして対応する、ということが違います。外部に対するメリットとしては、安定した質で提供できることと考えています。

20) ファシサポの案件採用基準は緩くなるのか。

→ 今までのルールからは変更するので、多少緩和されるものもあると考えています。

21) 「アクティブラーニング」とは何か。

→ 文部科学省が指導要領に取り込もうとしている、双方向で運営する学習（授業）の進め方です。ファシリテーションのスキルが必須です。

22) アクティブラーニングの講座は適正な費用を取るべきと考える。現状は安すぎる。

→ ご意見として、承ります。

23) 今後、熊本の震災に対する FAJ の対応について情報公開される予定はあるか。

→ FAJ として支援に入る適切なタイミングみているところです。会員への情報公開についても検討していきます。

5. 交流・親睦事業について

(質問・ご意見はありませんでした)

6. 広報・コミュニケーション活動について

24) 昨年度、メーリングリストサーバーが攻撃され、サーバー変更する事態があったが、ホームページリニューアルにあたり、サーバーセキュリティ対策の方針や予算 120 万円の内訳はどのようなものか？

→ 今回のリニューアル費用については、これから業者の正式見積もりを行う予定です。120 万円の概算予算では下記のシステム要件を検討中です。

1: タブレット対応

2: X O O P S から WordPress 等のシステムへの移行

3: デザインリニューアル

4: 既存コンテンツ移行

※但し、2 番については完全置き換えではなく併用になる可能性もあり。

メーリングリストへの配信が届かないという障害は、メーリングリストサーバーを @ml3.faj.or.jp に移行したことで解消していますが、FAJ ホームページからの自動返信メールが届かないという障害は依然残っています。これについては、サーバーリニューアルの際にサーバーセキュリティ対策の方針と共に、業者に相談し、見積もりを取る予定です。

25) 「インフラの強化」とあるが、セキュリティ対策への強化を考えていないのか？ML の件があったので考える必要があると思う。

→ 新しいサーバーに変更する予定があります。

26) セキュリティに対して適正な予算を付けて対応してほしい。経費をきちんとつけたほうがよい。

→ ご意見として、承ります。

27) 「コンテンツの充実」とあるがウェブ委員会が検討しているわけではないので、ウェブに掲載するコンテンツの実務者をウェブ委員会と分けて検討してほしい。

→ ご意見として、承ります。

28) 広報・コミュニケーションの場の連携について、事務局と連絡を取り合いたい。場はあるのか。

→ 設定された場はありません。ぜひ一緒に取り組みたいと思いますので、声をかけてください。

29) 事業報告に「オープン FAJ (仮称)」とあるが、実施済みであるのに仮称なのか

→ 昨年度の事業計画からタイトルをつけているため仮称となっているが、実施自体は「オープン FAJ」として実施しました。実施目的は、FAJ の普及ではなく、ファシリテーションのリアルを伝えることであるため、名称については検討の余地があるとも考えています。

30) オープン FAJ の評価はどうだったのか。昨年の評価に基づいて変更するところはあるのか？

→ 昨年度、実施する際に検証方法を明確にしていなかったため、十分な検証はできませんでした。

非会員に対し、新たな情報発信をすることができた、と認識しています。

31) オープン FAJ の結果として、どれぐらいの非会員が参加したか？

→ サイトに掲載した事業ごとの結果からの推察になるため、正確には把握できていません。

32) オープン FAJ の主旨として「外部の人が参加可能」があるが、今までの見学とはどう違うか？

→ 対象を広げる強化月間のような位置づけです。見学は入会検討の位置づけです。

33) オープン FAJ があるのが連絡されたのは直前だったがなぜか？非会員に広めるなら会員からの告知を早めにしたかった。

→ 立ち上げ準備が遅れたため、全体的に進行が遅くなってしまいました。今年度は早めに始めます。

34) オープン FAJ 非会員から徴収するお金は予算のどこに入っているのか

→ 現在は入っていません。

35) ニュースレター委員会の「役立つ情報の提供」とあるが、具体的にどうしようとしているのか？

→ 定例会、イベント、セミナー会場などでニュースレター（以下、NL）を配布して非会員の方に読んでいただく、という取り組みをしています。それ以外は今のところありません。

36) NL を入会の参考資料として、支部に配布したとのことだが、認識していなかった。どのような経緯か。活用したいと思う。

→ 原則は会員の便益として発行していますが、多めに印刷をしており、イベントや定例会での入会のための広報に使えるよう配布しています。まだ、支部への配布の仕組みが明確になっていないので、今後検討してお知らせします。

37) NL を印刷・発送するのをやめてデジタルコンテンツにすれば、経費節減になるのでは。

→ ご意見として、承ります。

38) ファシリテーション白書の実施に至らなかった理由はなぜか。

→ 定量的、エスノグラフィ的にやりたいと、メンバーを公募して6名集まりましたが、なかなか進められませんでした。その過程で専門性の高いメンバーが必要とわかり、一旦中断しました。予算は企画が具体化した後、予備費から充当する流れにしていたので、実際の増減には現れていません。今後も継続して検討し、適切な時期に実施したいと考えています。

39) ファシリテーション白書について活動した結果の支出はなかったのか。

→ 昨年度の活動としては発生していません。当初予算にも、活動が開始する時点で予備費から支出する見込みであったため、個別に予算化もしていませんでした。

40) ファシリテーション白書とはどのようなものか。

→ 過去に2回発行しており、直近の発行は2014年です。これらはFAJのホームページからダウンロードすることができます。ファシリテーションの普及度など、統計的な数値をまとめた情報とファシリテーションの実践事例などをまとめた情報が含まれています。このような情報は、定期的に把握していく必要があると考えており、一定の間隔で実施していきたいと考えています。

41) ファシリテーション白書について2016年度はどうするのか。

→ 専門的経験を有するメンバーにより作成し有料配布という事も含めて検討したいと思います。

7. 組織運営に関わる活動について

42) 「支部・スクエア・サロンの役割の見直し」について詳細を説明してほしい。

→ 内外のファシリテーターの相互研鑽の場を会員が主体的に作り出せるようになることを主な目的とし、支部についてはFAJの事業（定款第5条）を戦略的・計画的に執行する役割として、より自律的な運営に委ねる（非会員の受け入れや近隣地域や他団体との協働等）こととし、地域サロンや特定分野での実践的な活動主体については、FAJ コミュニティ（共同体）と位置付け、そのようなコミュニティを生み出しやすくする仕組み（地域型サロン/テーマ型サロン）を作りました。そしてFAJ自体は、それら活動主体や場をつなぐネットワーク・ハブとして、これまで以上に自律分散を強く意識した組織の在り方を目指していこうというものです。組織的な変更点としては、地域拠点の成長ステップと位置づけられていたスクエアを廃止し、会

員主体の拠点を支部とサロン（地域・テーマ）とします。有期的なプロジェクト活動はこれまで通り継続します。

43) 支部とサロンの違いは何？

→ 支部はFAJ内の組織で予算があり、定例会も毎月開催します。サロンはFAJ外の組織で、予算は運営補助費として予算に計上し、基本は例会を実施するときは参加費をとり運営しています。

44) 地域型／テーマ型サロン設置に伴い、各支部定例会も有料参加を認めるような動きがあると聞いたが？

→ 議論はしていますが決定ではありません。（本説明会以降の2016年5月理事会において、定例会の企画ごとに運営にかかる費用を一部負担することにより参加することができることを決定）

45) サロンを作ろうとするとき誰にどういう話をしたらよいか？非会員が参加できる場がほしい。

→ 2016年5月理事会で申請手続き等も確認しましたので、今後、お知らせしていきます。

46) 地域型、テーマ型サロンとあるが、テーマ型サロンをプロジェクトの違いを教えてください。

→ プロジェクトは期間を決めて成果を出すことを目的としています。サロンは期間を設けず、継続的なコミュニティとなることを前提としているところが大きな違いとなります。

47) テーマ型のサロンについて、一定程度の地域を限定したテーマ型もありか。

→ それでよいと思います。

48) 会員数の推移はどうなっているのか？退会者分析を行ったとあるが、分析結果について公開するのか。その方法と時期について教えてください。

→ 2016年3月31日時点で個人会員1,690人（正会員1,666人、学生会員24人）、団体会員1法人です。会員管理システムを導入して以降、直近3年間の分析を行いました。概要ですが、入会者数は2011年度205人、2012年度576人、2013年度566人、2014年508人、2015年度400人と減少傾向です。一方、退会者は2013年度446人、2014年度548人、2015年度482人と増加傾向にあります。退会者の内訳傾向は入会后1年で退会する人が45%、3年で約70%の人が退会しています。退会は申し出による退会者が約1/3、会費未納による自動退会は約2/3、申し出による退会者のうち、理由の記載がある人が約60%です。コメントの75%は「忙しく定例会に出られない、参加ができない」12%は「一旦退会し、再入会する」といった内容で、そのほか、「エリアの問題で参加しづらい」「雰囲気合わない」「関心・期待と違う」等はいずれも5%以下でした。現在、地域では定例会の平日開催や二部制の開催など、参加の多様性に応える工夫が始まっています。検討は十分ではありませんが、退会理由の一番である「定例会に参加できない」ことについて、様々な方法でカバーしていくことが対策になっていくものと考えています。なお、会員数の推移及び今回の結果について、会員専用ページで公開を予定しています。

49) 退会者分析について。45%というものの分母は？

→ 当該年度に入会した人の人数です。

50) 退会者の分析結果を反映した計画はあるのか。あるなら計画のどれにあたるか？

→ 具体的な反映はできていません。今後の検討になります。

51) 会員が減っている事について、仕方ないと思っているのか？

→ 事業収入が減っていることとして危機感をもち、問題と捉えています。

52) 非会員は参加費を払えば、定例会に参加できるようになったが※、年会費を払って、会員になる意味は何なのか、理事会でも検討してほしい。※2016年5月理事会後の開催のため44番と説明が異なりました

→ 非会員の参加については、地域の事情に合わせて地域でプラン化することになります。支部だけでなく理事会も一緒に考えていきます。会員になる意味についても検討したいと思います。

53) 会員増加および適正規模については、会員の声を聞く場を設けてほしい。

→ ご意見として、承ります。

54) 会員増加および適正規模については、人口動態などから適正規模の軸を持ったほうが良い。

→ ご意見として、承ります。

55) 会員証を作ったらどうか。自分の励みにもなる。

- ご意見として、承ります。
- 56) 入会1年で45%の人が辞められるということだが、セミナー経由ではいった人(どういう位置づけで入った人)がどれぐらいその中にいるのか？
- 現在はわかりません。調べられるのか、検討してみます。
- 57) 昔は会員を増やそうだったのが、レベルを上げようという方向にした記憶があるが、今はどちらの考え方なのか？
- 「深化」に切り替えた経緯はありますが、「普及」がミッションですので「広める」も続けています。とはいえ、近年は会員が毎年50名程度減っており、費用確保の観点もあり、今後検討が必要と考えています。
- 58) 名刺に肩書として書いてはいけないとの規定もあるが、どこまでがよいのかは整理してほしい。
- 内規的運用事項F-8に記載していますが、名刺・チラシ等にプロフィールとして協会会員であることを記載することは問題ありません。
- 59) 以前実施していた全国スタッフ会議について、今年度の予定はあるか？あるなら理由をまた、ないなら理由を教えてください。
- 全国スタッフの交流という意味では、役割は終わったという認識です。今年度はオンラインを活用したり、他のやり方も検討したいと考えています。また今年度はスタッフ会議ではありませんが、明日会という役員OBなどで構成される集まりを予定しています。
- 60) FAJのようにダイナミックに変わる組織はない、テーマ型サロンなどの新しい試みにワクワクしています。
- ありがとうございます。ご意見として、承ります。

8. 決算、予算について

- 61) ここ数年、内部留保額2,700万程度あるのに、理事会より各拠点に対し、予算作成時には削減依頼がある。内部留保額の根拠について教えてください。
- 予算作成の考え方ですが、「定常事業」は当該年度の収入で支出を見込み、変更や強化等有期で取り組む「非定常事業」については内部留保額から持ち出し充てています。今期各支部委員会の予算策定において昨年実績からの削減依頼があった背景ですが、それは、会員減少による収入の減少が主な要因です。また、適正な内部留保額については、平成24(2012)年度3月理事会で検討し、収入の見込みが異なったとしても立て直し期間(3ヶ月程度)、事業を継続できるように1,200万円程度(年間支出1/3)を必要額と算出しており、今年度は2,300万円内部留保する見込みです。
- 62) 事務消費費予算オーバーの原因が関西支部の37.5万円と見受けられるがなぜか？
- 当日配布のパンフレット、クリップボードが予算超過の原因です。
- 63) ウェブ編集委員会に交通宿泊費が執行されているが、その成果について語られていないような気がする。
- ご意見として、承ります。なお、交通宿泊費の内訳はリアル委員会の費用です。実績は各回の理事会議事録で掲載しています。
- 64) 各支部の予算を絞ったというが、どこをどう減らしたのか教えてください。
- 毎年度、予算を使い切れていない場合が多く、各支部に予算検討いただいた際には、実績をベースに検討しました。全体を集約した中で、収支の赤字額が大きかったため、各支部に一律15%ほどの削減を依頼しました。削減費目については、支部ごとに違っています。
- 65) 広報予算40万円が減額になっている。必要な事については重点的な予算配置をすべきではないか
- 全体の予算を削減する中で、NLについても減額予算となりました。昨年度FAJ外部への取材として予算を確保しましたが実績がなかったことを踏まえ削減しました。現在、NLは会員の便益の一つとして作成していますが、ここ数年は非会員向けの広報ツールとしてはどうかという議論が続いています。今年度は、重要な広報ツールということもふまえて非会員向けの配布も検討していきたいと考えています。必要な予算は予備費の中から使っていく事も考えます。NL委員会だけではな

く、会員一人ひとりも広報をお願いしたいです。公式フェイスブックなども立ち上げているので、こちらにも活用してほしいです。

66) 2016 年度予算の収入表の北海道支部の収入に、個人寄付金 10,000 円が含まれているが、合計額が合っていない。31 万は 32 万の間違いではないか。

→ 北海道支部として個人寄付金は予算化していません。「事務局」に記載するべきものが「北海道」の列に謝って記載されてしまいました（別記「正誤表」あり）。

67) 熊本の震災のように突発的な事象には、予算をどのように確保して対応するのか。

→ まだ具体的な計画は立ててはいません。対応方法としましては、既存事業に該当するような内容であれば、予備費を充当することも可能ではあります。ファシサポ委員会から、熊本の震災に対して対応したい旨の報告がありました。今後、理事会で検討していく予定です。

68) 平成 27 年度調査研究事業の関西、東北の収入は何か。

→ 関西は合宿で参加者からの参加料、東北はスクエアなので非会員からの参加料です。

69) 平成 28 年度予算の調査研究事業の東北の収入は何か。

→ 東北スクエアとして（支部になる前）の段階で、非会員からの収入を見込んで計画しています。

70) 2016 年度予算の管理費の旅費交通費として、「明日会」に 20 万円が予算化されているが、明日会とはどのようなものか。また、収支が厳しい中、この 20 万円の支出は適切なものか。

→ 「明日会」とは、役員 OB を集めて FAJ の明日について議論する場です。現在、会員減少や組織のあり方の見直し、ファシリテーションサポート委員会といった新しい事業の立ち上げ、等、経営の節目にあることもあり、役員 OB との議論の場は必要と考えています。

71) マイナス予算なのですが、大丈夫ですか？

→ 今回のマイナス予算の原因は短期的によるもので、事業運営に支障はきたさないと考えています。

72) 予算の今後の方向性を教えてほしい

→ 会員減ということもあり、クラウドファンディングや助成金なども含め、事業収入について検討したいと考えています。

73) 予算の中の家賃とは？倉庫に中国支部とあるが？

→ 家賃は P F C（東京事務所）です。倉庫は中国支部のものも含まれます。

74) 支部で助成金の活用はしてよいか。

→ 議論はしていませんが、否定する要素はありません。

75) 非会員から徴収するお金は予算のどこに入っているのか

→ 現在は予算化していません。

76) 公益に関する支出は支援助言事業のところだけか。

→ 「公益事業」という位置づけはありませんが、より非営利的な性質が強いのは支援助言事業です。支援助言事業では支援を通し持ち出しになっている部分もありますが、教育普及事業等の他の事業の収入が補完するような形になっています。

77) 自分が払っている会費の 1 万円がどのように使われているのか分かりにくい。見える化して、分かりやすくしてもらえるといいと思う。（事業毎の配分、共益・公益にいくらなど）

→ ご意見として、承ります。見える化は大切だと思うので、検討したいと思います。

78) 会員が減少していることを踏まえ、どのような助成金等財源確保を検討しているのか。

→ 昨年度は復興支援室で中央共同募金会からもらいましたが、今年度は具体的にはまだ決めていません。熊本地震へ対応する助成も始まっていますので、その検討及び、寄付などを集めていくことも考えています（クラウドファンディングなど）。

79) 助成金の検討について触れているが、助成金を受けると事務作業が大変になると思う。すでに助成金の申請を考えているようなところがあるのか。

→ 助成金だけではなく、助成金を含めた財源確保についての検討を行なうことを考えています。具体的にどこから助成金を受けるなどについて決まっているわけではありません。

80) 支援助言事業収入が昨年度より増加しているが、なぜアップしているのか。

→ ファシ活のときは事業収入はなかった（本人の収入だった）が、今年度はFAJの収入になるので、増額しています。

総会議事資料正誤表

誤		正	
P11 支援助言事業費 決算内訳 教育 F 室		P11 支援助言事業費 決算内訳 教育 F 室	
科目	金額	科目	金額
事務消耗品	10,430	会場使用料	10,430
交通宿泊費	1,905	事務消耗品	1,905
謝礼等	155,240	交通宿泊費	155,240
P11 交流・親睦事業費 決算内訳 GFPC		P11 交流・親睦事業費 決算内訳 GFPC	
科目	金額	科目	金額
謝礼等	700	交通宿泊費	700
印刷費	50,000	謝礼	50,000
P23 寄付金収入 個人寄付金		P23 寄付金収入 個人寄付金	
予算内訳	金額	予算内訳	金額
北海道	10,000	事務局	10,000
P23 収入の部		P23 収入の部	
収入合計	金額	収入合計	金額
事務局	16,200,000	事務局	16,210,000